



# 内閣統計講習會の記

新治郡新治村 小倉 茂

第十七回内閣統計講習會が東京帝國大學工學部講堂に於て開催せらるゝに際し、本縣よりの受講者四名中其の一人として聴講致して参りましたことは私の無上の光榮であります。是偏に協會並に關係各位の御高配の賜と深く感謝致します。

さて講習は七月二十二日より八月十日迄の二十日間で毎日午前八時に初め正午まで四時間、其の間十分間の休憩がありました。講習生は三百五十余名に達し中央諸官廳より派遣された者大部分を占め、府縣廳より六十四名、市町村より百十二名で、遠く朝鮮、臺灣

方面よりの聴講者もあり、實に盛會でありました。七月二十二日は

## 講習の第一日

であります。帝大の正門をくゞり正面の大講堂より左に折れて工學部に出る講堂前の受付にて所屬官廳と氏名を述べ聴講者心得、時間割及聴講者證を交付される、やがて振鈴を合圖に一同は會場に着席、午前九時二十分開會、長谷川内閣統計局長から統計の重要性に就てお話があり、續いて係から講習中の注意事項を指示せられました。

午前十時豫定の時間割により藤本講

師の一般統計より初められた。講師は何れも皆

## 斯界の權威者

で、説く處極めて該博、何れも皆日頃耳にしたことのないものばかりで、私如き淺學にして實務經驗に乏しい者には難解の点もありましたが、懇切なる講義に聴講者も亦、一言半句も聞き漏らさじと謹聽する等、講習としては稀れに見る成績でありました。講習科目及講師は左記の通りであります。

### 一般統計

東京帝國大學教授 藤本幸太郎氏  
人口統計及國勢調査

内閣統計局統計官 松田泰二郎氏

### 働統計

内閣統計局書記官 水谷 良一氏

### 經濟統計

内閣統計局統計官 中川 友長氏

### 農林統計

農林書記官 本多 佐七氏

### 商工統計

て終つたのです、我々講習生一同は講師並に關係各位に感謝し協力一致より良き統計資料蒐集の爲努力し重大責務を全うせんことを念し懐しの講堂と別れを告げました。(をほり)

## 統計の歌

手賀燒石生

冬は嬉しや左にノート右にペン、統計調査をいたしませう。(冬季調査)  
粒々辛苦の功成りて、俵山程積上げて、統計小唄を歌ひつゝ、戸毎に響く製建機、一枚織れば十錢よ、十枚織れば一圓と、塵も積れば山となる、遊んで不當の事すれば、世間に愧を柿をばかり、借金などは杉去りて枇杷貧乏は梨となり、戸毎に福を松ばかり、密柑、金柑、ダイと子孫を益々御繁昌

商工省統計官 石田祐次郎氏

### 數理統計

内閣統計局統計官 齋藤 齊氏

### 統計實務

内閣統計局統計官 森 敷樹氏

### 憲法及行政法

法制局參事官 入江 俊郎氏

### 經濟學

東京帝國大學教授 荒木光太郎氏

### 財政學

東京帝國大學教授 土方 成美氏

八月六日にはかねて宮内省に新宿御苑拜觀を願出ておきましたのが差許されまして午前八時から拜觀致しました控室で案内掛から御苑の由來及今日の御様子を承はり續いて御苑を拜觀しましたが、廣莊にして清淨なること自づと神々しさを覺えます、毎年の觀櫻、觀菊の御催もある所と承はる。

次いで八月九日には内閣統計局に於て講義並に實務見學のため同局に參集し、一時期講義を聞き後六班に分れて見學しました、私等は第五班でして第

二製表課より第一製表課と隈なく見學しました、此の日同局にては特に聴講者一同のために前回の國勢調査製表に關する參考資料等を提供して種々便宜を與へて下さいましたことは誠に感謝に堪へない次第であります、整理に當る人々は皆命令を受けた仕事に對し一心不亂統計の生命とする

## 迅速且つ正確

を目指して製表するもので、これを見ても我々の日頃豫測して居た以上に重要なことが深く腦裡に刻みつけられました。

八月十日は午前十時長期の講習も極めて良好な成績を以て終了しました、此の講習に於て講習證書を授與せられたる者三百十四名でありました。

# 地方統計主任官會議

川崎統計課長出席

## 農 林 省

農林省では十月二十一、二十二の兩日地方統計主任官會議を開催、山崎農林大臣の訓示に次いで本多統計課長の挨拶あり、指示注意の後協議に入り本省並に各府縣提出の協議案を付議したが本縣からは川崎統計課長が出席された。

山崎農相の訓示及指示、注意、協議事項は左の如し

### 山崎農林大臣訓示

我國農山漁村ノ經濟狀態ハ積年疲弊ノ跡著シク加フルニ昨年ハ全國各地ニ災害ヲ受ケ其ノ打撃ハ相當深刻デアリマシテ今年ニ至ツテ農村ハ或程度ノ安定ヲ得タトハ申スモノノ尙本年モ天候ニ惠マレズ相當ノ被害

ヲ蒙ツタノデアリマシガ之ニ對シテ應急並復舊施設ヲ講ズルコトノ緊要ナルハ申ス迄モナイコトデアリマス。政府ハ昨年ニ於キマシテハ此ノ爲ニ特ニ臨時議會ヲ召集シマシテ各種ノ應急並復舊施設ヲ講ジテ來タノデアリマスガ本年ノ災害ニ對シテモ亦目下之ガ對策ニ就キ考究中デアリマス。

固ヨリ農山漁村ノ經濟的困難ハ其ノ由テ來ル所甚ダ深ク匡救振興ノ實ヲ擧グルコトハ容易ノ業デハナイノデアリマシテ自力更生ノ精神ヲ發揮シ堅忍持久シテ事ニ當ルト共ニ能ク地方ノ諸般ノ事情ヲ洞察シテ適應ノ方策ヲ施シ恒久的繁榮ノ基礎ヲ固ムベキモノト存ズルノデアリマスガ地方ノ實情ニ即シテ恒久策ヲ施スニ當リマシテモ將又應急ノ施設ヲ講ズルニ際シマシテモ農林統計ハ常ニ其ノ計畫ノ基礎的資料トシテ極メテ重要ナリ意義ヲ持ツコトハ贅言ヲ要シナイノ

デアリマス。

而シテ複雑多岐ヲ極メ調査ノ難澁ナル農林統計ニ於テ其ノ完璧ヲ期スルコトハ決シテ容易ナル業デハナイノデアリマスガ政府ハ昭和八年ニハ農村ニ最モ緊密ナル關係ヲ有スル米ノ生産高調査方法ヲ改正致シマシテ農林統計ノ整備充實ニ一歩ヲ進メタ次第デアリマス。幸ヒ各位ノ非常ナル御努力ニ依リマシテ過去二箇年ニ於ケル本調査ノ成績ハ概シテ良好ナル結果ヲ得タノデアリマシテ此ノ點御同慶ニ存ズルノデアリマス。偶々昨年ハ特ニ全國的ノ凶作デアリマシタ爲ニ各方面トモ米ノ生産高ニ就キマシテ異常ナル關心ヲ持ツニ至リ米生産統計ハ社會ノ各方面ヨリ利用セラレ本統計ノ價值ハ一段ト高メラレタ次第デアリマス併シナガラ本調査實施上ノ若干ノ點ニ關シマシテハ或ハ地方ニ依リ未ダ必ズシモ遺憾ノ點ナシトセヌノデアリマシテ米生産統計ノ重要性ニ鑑ミ今後一段ノ御努力ヲ切望スル次第デアリマス。

元來統計調査ノ成果ハ直接調査ノ術ニ當ル調査員ハ勿論市町村統計關係者、道府縣

當局ガ總テ一体トナリ一村一縣ノミノ局部的利害ニ拘泥スルコトナク廣ク國策樹立上重要ナル價值ヲ有スルトノ見地ニ立ツテ統計調査ニ精進スルコトニ依ツテ始メテ其ノ完キヲ得ルモノデアラウト存ジマス。

各位ハ右ノ點ニ思フ致シ農林統計ノ第一線ニ立ツ調査員並市町村統計關係者ノ指導訓練ニ一段ノ努力ヲ拂ハレマシテ益々農林統計ノ刷新ヲ圖ルト共ニ一般民衆ニ對シマシテモ統計思想ヲ普及スルコトニ勉メラレ以テ農林統計調査ノ萬全ヲ期セララルル様希望スル次第デアリマス。

### 指示事項

- 一、統計の普及發達に關する件
- 二、地方農林統計費補助に關する件

### 注意事項

- 一、報告期限の履行に關する件
- 二、米麥及藪統計の報告に關する件

### 統計調査員異動(上は新任)

(括弧内舊)

昭和十年八月三日	新治郡 眞鍋町
久松 信一	(小野 勇)
八月二十二日	猿島郡 森戸村
染谷 喜一	(倉持 伴作)
八月八日	稻取郡 生板村
八月三十一日	(大野宗之助)
上遠野 孝喜	多賀郡 關本村
九月十日	(鈴木 淺次)
鶴田 牧之介	新治郡 田余村
九月二十五日	(鶴町定右衛門)
國安 作一郎	東茨城郡伊勢畑村
九月二十七日	(國安 源六)
小室 政男	那珂郡 湯郷村
九月三十日	(岡崎 光)
岩田 清衛	新治郡 新治村
	(小貫 忠之)

### 寄贈圖書

昭和十年	東京帝國大學要覽	東京帝國大學
昭和八年	青森縣勢要覽	青森縣

### 青森縣の地位

全 上

昭和九年	臺灣常住戶口統計	臺灣總督官
一九三一年	ローマ國際人口會議資料	房調查課
昭和八、九年	郡市町村米統計表	農林大臣官房統計課
	統計(八月號)	千葉縣統計協會
昭和九年	栃木縣勢要覽	栃木縣
昭和八年	三重縣統計書	三重縣
	園藝及工藝農產物統計表	農林大臣官房統計課
	賀美村報(八月號)	久慈郡賀美村役場
昭和八年	栃木縣統計書	栃木縣
昭和九年	朝鮮國勢調查報告	朝鮮總督府
昭和五年	長野縣統計書	長野縣
昭和八年	最近の山形縣勢	山形縣
昭和八年	山形縣統計書	山形縣統計課
昭和八年	帝室林野局統計書	帝室林野局
第五十二號	兵庫統計	兵庫縣統計協會
昭和九年	北海道米麥統計表	北海道庶務課
八月號	統計界	岩手縣統計協會
	京都府統計研究會誌	京都府統計研究會
	島根縣の統計(第六號)	島根縣統計協會
第五十一號	統計時報	內閣統計局

- 三、農林統計の訂正報告に關する件
- 四、家畜統計に關する件
- 五、報告様式に關する件
- 六、被害報告に關する件

本省提出協議事項

- 一、地方農林統計事務整備刷新に關する件
- 二、米生産統計調査の實績並に將來に於ける改善事項に關する件

商 工 省

商工省に於ける地方統計主任官會議は十月二十三、二十四の兩日特許局會議室に於て開催され本縣よりは川崎統計課長が出席された、同會議に於ける町田商工大臣の訓示並に指示、注意事項は左の通りである

町田商工大臣訓示

産業統計が公私産業政策施設ノ基礎資料タルト共ニ國家總動員計畫設定上ノ基本資料トシテ最も重要ナルモノデアロコトハ茲ニ改メテ申ス迄モナイ所デアリマシテ中小

間營業者ニ充分徹底理解セシムルト共ニ調査ニ直接從事スル各種調査機關ヲシテ調査ノ實務ニ習熟セシムル様指導訓練スルコトガ最も大切デアリマス  
近來統計思想ノ普及ニ付テハ相當見ルベキモノガアリマスガ統計ノ重要性益々加ハリツ、アル今日尙一層統計思想ノ普及ニ努メ官民協力一致シテ商工統計ノ整備充實ヲ圖ル様更ニ一段ノ御努力アランコトヲ切望スル次第デアリマス

尙今回昭和四年十一月商工省告示第四十七號ヲ改正致シマシテ工場調査規則ニ依ル作業機械及設備ノ調査方法ヲ改正致シタノデアリマスガ之ガ調査ノ實施ニ付テハ本會議ニ於テ能ク御打合せニナルト共ニ其ノ他ノ事項ニ付テモ充分御協議アランコトヲ希望致シマス

指 示 事 項

- 一、主要作業機械及設備調査改正ニ關スル件
- 二、統計調査の趣旨徹底方に關する件
- 三、統計調査機關の指導訓練に關する件

注 意 事 項

商工業問題、産業統制問題、貿易調整問題、國家總動員計畫等産業上及國防上施設ヲ要スル多クノ重要問題ニ直面シテ居ル我國現下ノ情勢ニ鑑ミマシテ産業統計ノ整備充實ヲ圖ルコトハ最も緊要トスル所デアリマ

從來本省ニ於キマシテハ絶ヘズ商工統計ノ改善刷新ニ努力シテ來タノデアリマシテ各位ノ熱心ナル御協力ニ依リ各種ノ商工統計ハ何レモ其ノ内容ヲ整備シ來リマシテ今ヤ公私各方面ニ亘リ廣ク利用セララルニ至リマシタコトハ寔ニ欣快ニ堪ヘナイ所デアリマス

乍然現在ノ商工統計ハ素ヨリ之ヲ以テ完全ト稱スルコトハ出來ナイノデアリマシテ日々進展變遷シツ、アル現今ノ經濟界、産業界ノ情勢ニ適應セル各種ノ政策施設ノ基礎資料トシテ商工統計ノ利用價值ヲ充分發揮セシムルガ爲ニハ更ニ一層之ヲ整備充實シテ年々變化ノ激シキ商工業ノ實情ヲ迅速ニ明白ナラシムルコトガ最も必要デアリマ

而シテ商工統計ヲ正確且迅速ニ作成スルガ爲ニハ申ス迄モナク統計調査ノ趣旨ヲ民

- 一、報告期限の勵行に關する件
- 二、各種統計調査票記入に關する件
- 三、工場統計に關する件
- 四、會社統計に關する件
- 五、商工省統計に關する件
- 六、織物産額調に關する件
- 七、地方商工統計調査費補助申請書並同收支決算書記方に關する件

内閣統計局

内閣統計局では上記農林、商工兩省に引續き十月二十四日地方統計主任官會議を同局會議室に開催、本縣より川崎統計課長が出席された、打合事項等は左の如くである

打 合 事 項

- 一、昭和十年國勢調査に關する件
- 二、昭和十年國富及國民所得調査に關する件

内閣資源局

ついで内閣資源局でも道府縣資源調査關係官會議を十月二十五日中央會議

昭和八年 人口動態統計記述編 内閣統計局	昭和九年 静岡縣統計書	昭和八年 沖繩縣統計書	昭和八年 福岡縣統計書	昭和八年 福岡縣家畜統計書	昭和八年 北海道統計書	十月號 統計	昭和八年 熊本縣勢要覽	昭和八年 熊本縣統計書	昭和九年 米作統計	昭和九年 麥作統計
千葉縣統計協會	静岡縣	沖繩縣	福岡縣	福岡縣	北海廳	千葉縣統計協會	熊本縣	熊本縣	熊本縣	熊本縣

二 國勢調査員の年と職

今度の國勢調査に従事した本縣の國勢調査員(豫備員を含む)を年齢及職務別に分類すると次の通であるが、全部男で二十歳未満のいはゆる未成年者が十五名あつた。  
(一)調査員數(昭和十年七月二十日現在調)

種 別	總 數
調査區擔當ノ國勢調査員	五、五〇〇人
豫備員タル國勢調査員	一、〇六九
計	六、五六九
内管テ國勢調査員タリシ者	一、八一四
(一)調査員ノ年齢別	
二〇歳未満	一五
二五歳未満	一五八
三〇歳未満	一五八
四〇歳未満	一、三七九
五〇歳未満	二、〇五三
六〇歳未満	一、五六七
七〇歳未満	四七五
七〇歳以上	四四
(二)調査員ノ職務別	
官吏及府縣吏員	一人
市町村吏員	三五二
區長及區長代理者(町會長ヲ含ム)	四九七
縣會及市町村會議員	五七二
學校教職員	九三
在郷軍人分會員	二六三
統計調査員	二、四七八
青年團員	二一八

所に於て開催、川久保長官の訓示に次いで植村總務部長、星塾企畫部長より指示ありたる後左記事項を協議したが本縣よりは川崎統計課長及郡司屬が出席した。

### 資源局長官訓示

世界最近ノ情勢ヲ見マスルニ國際關係ノ尖鋭化ニ伴ヒマシテ列強ハ各其ノ國防ノ充實ヲ圖リ資源ノ確保利用ニ努力ヲ拂ツテ居リマスコトハ想像以上デアリマシテ此ノ間物の資源ニ於テ必ズシモ惠マレテキナイ我國ガ列強ニ介在シテ國家ノ安全ト國運ノ進展トヲ圖ランガ爲ニハ各種資源ノ開發ト之ガ運用トニ一段ノ力ヲ注ガネバナラヌコトハ今更贅言ヲ要シマセヌ此ノ點ニ關シテハ資源局創設以來總動員計畫ノ樹立ニ不斷ノ努力ヲ拂ツテ參ツタノデアリマスルガ事ノ性質上其ノ關係スル所極メテ廣汎多岐ニ互リマスルノデガ完成ニハ更ニ一段ノ研鑽ト勉勵トヲ必要トスル次第デアリマス

而シテ之ガ前提タル資源調査ニ付テハ各位ノ御努力ニ依リマシテ内容ノ正確、提出期日ノ嚴守等ニ付漸次改善ノ跡ヲ見ウルニ



## 模範町村を視て

多賀郡黒前村

根本基

憧れの視察日は来た、午前八時四十分分川尻驛發の列車で各調査員と共に目的の地に向ふ、陸々として發展する日立助川の工場風景を車窓に眺めつつ、早くも大夔驛に着く。

道路の左右に開けたる際涯なき田園を見て村の隆盛發展を先づ察知するところが出来た。途中に老松古杉鬱蒼として聳ゆる森が見える、泉ヶ森である。その中に郷社泉神社が儼然として宮居し、その境内には玲瓏玉の如き清水が絶えず滾々として地底より湧き出で、神社をして一層森嚴ならしむる感がある、神社に詣で坂上村役場に至る。

◆ 玄關に這入るとすぐそれとわかつて

至リマシタコトハ誠ニ御同慶ニ存ジマス

次ニ平時施設ニ付キマシテハ現ニ名古屋地方ヲ中心トシタ機械工業者ガ機械奉公組合ヲ結成シテ戰時對策ノ研究ニ手ヲ染メヨウト致シテ居リ又高知其ノ他ノ地方ニ於キマシテモ工場ノ組合ヲ組織シテ軍需品製造ニモ乗出ソウト致シテ居リマス斯ノ如キ氣運ニ向ヒマスルコトハ誠ニ喜バシキコトト存ズルノデ折角適當ノ御指導ヲ願ヒタイ次第デアリマス其ノ他計畫ノ進捗ニ從ヒ平時施設ノ充實徹底ヲ期シ資料ノ整備ヲ圖ル爲ニ將來更ニ一段ノ御協力ヲ期待スル所亦極メテ大ナルモノガアリマス

本日ハ資源統制運用上最モ留意スベキモノデアアルニモ拘ラズ尙資料ノ不足シテ居リマスルゴム及鉛ノ現況及回収状況ノ調査ニ關シ打合ヲ致スコトニナツテ居リマス何卒十分ナル審議ヲ遂ゲラレシコトヲ御願致シマス

### 協議事項

- 一、水道用鉛管敷設量調査の件
- 二、古ゴム回収調査の件

か、統計主任の方がほい笑みて我々一行を快く迎へて呉れた。粗末な洋服を着けた質素な姿であるが、ガツツリとした中々人品の善い人である、これならと一目見て第六感に映じた。導かれて事務室に入り種々の統計書類を見せて戴いた上に、約二時間許り説明を受けて、同村の統計事務の完備してる事に一同感嘆しつつ、役場を辭し、それから歩を河原子町役場に進めた。

◆ 一方には肥培管理實に申分なき畑、一方は海岸添への白砂青松、古來風光明媚の地として世人に親しまれる河原子濱を賞し、午後一時頃に役場を訪ねた。えがぐり頭で和服を着けた活潑な姿で、三十有余年も勤続され統計事務

神職僧侶	二二
農業	一、三二
水産業	一〇
工業	一一
商業	五六
會社工場事務員	四七五
海運業者	五二
其ノ他	一六六

### 本會役員異動

統計協會支部長として多大の御盡力を煩はしました宮田厚氏(多賀郡松原町長)は縣會議員立候補の爲、西野喜志之助氏(那珂郡湊町長)、關敬一氏(結城郡結城町長)は病氣の爲執れも退職せられ、又評議員小松崎定之助氏(新治郡石岡町長)も此の程退職せられました、尙ほ本縣顧問杉山俊郎氏(地方課長)は滿洲國民政府理事官として十月二十五日赴任され、自然本會の顧問を退かれました

◆ 練達堪能な鈴木氏の説明を承はり、且統計書類を拜見させて戴きこれまた統計事務の完備した事に感嘆した。二時半頃に役場に別れを告げて直ちに國分村役場に急いだ。

◆ 同役場には統計主任不在の爲に遺憾ながら統計事務を視察する事を得ずして直ちに引き返し國分産業組合の状況を視察した。この組合の繁昌並びに組合の敏活なる行動の絶頂点に達してゐる事に心を打たれた。

◆ 四時四十分下孫驛發列車で懐しの我が山村に歸つたが、この視察により各町村の統計事務は我が村に比して大に優良なることに驚き種々教へられる所があつた。

◆ 今後我々調査員は大いに勵み大いに活躍して他町村と肩を並べ且同一歩調を取るにいたるやう念願して止まない次第である。



短歌

丹 四郎選

題『秋雜詠』『收穫』

賞 行方郡武田村 高柳 正  
稻扱けど手應へあらぬ輪轉機ランブの影に妻も黙しぬ  
(冷害哀詠)

秀 逸 妻えしれて穂先直ぐ立つ中稻田の刈りのこりつゝ冬さりにけり

北相馬郡菅生村 倉持保光

長時化の止み間にでてて裏山の栗かも拾ふ子等さやぐ聲  
時化つぎて出津の草生も水づきたり馬草にさへもことかく秋を

玉 造 町 出久根 とき子

コスモスの眞つ盛りなる山の驛汽車は停らで笛鳴らし過ぐ  
更くるまで稻扱きたまふ吾が夫をかしこみ見つゝ風呂の火を焚く

筑波郡吉沼村 北原節彦

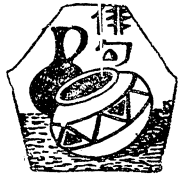
晝ながら時雨すぎゆく背戸の山小竹のさやぎはさむぎむしかも

四郎

閑かなる小夜と思ひぬいつの日かこゑ止みて居し厨こほろぎ  
幽かなる蟋蟀のいのちや心とめてききにし閑も乏しかりにき

次回課 額『初冬雜詠』十首以内

宛名 茨城縣廳内統計協會  
締切 十二月二十日



前田猶春選

題『案山子』『柿』

○ 行方郡武田村 鳥次 ゆた香  
刈る人も案山子も洪水に漬りゐて  
○ 同 人  
夜の雨の冷もつ柿をむきにけり  
○ 新治郡互會村 増子 よし女  
雨風に傾き暮るゝ案山子かな

落葉せし裏山のべに月ながら時雨すぐるはあはれにきこゆ  
行方郡武田村 塙 草風  
水漬きたる吾が家守りて闇深き屋根に戦き更す幾夜さ  
筑波郡大穂村 春 泉

欽の柄のにぎりのくぼみ親しけれ祖父も父も握の給ひし  
猿島郡幸島村 小倉 白雨

草刈りにやから乗り出し舟あとの水尾にゆれぬる睡蓮の花  
稲敷郡太田村 五十嵐 康尊

洪水の名残りいまだし水漬き稻腰を浸して刈り急ぐなり  
稲敷郡生板村 大野 芳雄

昨日まで小田をへたてゝ見えにける利根の河なみ枕べに聞く  
鹿島郡中野村 大川 貞一

水漬きたる湖邊の小田に日もすがら腰までひたり稻刈りにけり  
行方郡手賀村 曾根 健

洪水にひたれる沼田ひたすらに田舟に乗りて稻刈れる見ゆ  
筑波郡大穂村 柳町 涼風

夜なべ終へて土間掃き居れば板屋根に時雨降り来て音たてにけり  
行方郡武田村 境 勇

早起きの子等にかあらし裏山に椎の實拾ふ競ひこゑする  
久慈郡金砂村 鈴木 晋之介

夕風にさ揺らぐ稲田もとほれば雀しばしば群れとべる見ゆ

○ 大いなる落暉の前の案山子かな 同 人  
○ 筑波郡大穂村 柳町 涼風

○ このあたり藁家ばかりや柿の秋  
行方郡武田村 境 谿水

○ 朝風をうれたる柿に目白來ぬ  
那珂郡藤郷村 高部 樂風

○ 柿むくや日たけてぬくき椽の端  
結城郡上山川村 山中 霞宵

○ 夕焼に柿赤々と藁家かな  
北相馬郡高野村 倉持 公孫樹

○ 黍刈りてあたり廣さや案山子たつ  
鹿島郡豊郷村 林 香洋

○ 柿賣りの柿喰ひつゝ語りけり  
筑波郡大穂村 柳町 涼風

○ 月晴れて笠のあかるき案山子哉  
久慈郡金砂村 鈴木 晋之介

○ 夕されば柿光りけり 磧 畑  
那珂郡木崎村 小泉 古山

○ 筑波峰の矢ごろに遠き案山子かな  
新治郡藤澤村 吉沼 貞石

○ 遠くより見ゆる梢の柿の色  
猿島郡幸島村 小倉 白雨



川柳

山中緋郎選

冷々と柿貰ひたる掌

庭の闇熟柿落ちたる氣配かな

張り替へて白き障子や柿の秋

椽さきに朝の日ざしや柿の籠

菓つむやたま〜柿の落ちし音

柿買の来て話し居り柿の下

柿落ちて梢の鴉飛びにけり

秀逸

(賞)

北相馬郡高野村 倉持公太郎

(賞)

新治郡瓦會村 増子よし女

柿の家ゆがめるまゝに人住めり

次回課題 『風』『時雨』

締切 十二月二十日半紙二ツ折十句以内  
宛名 茨城縣廳内統計協會

題 『決算』

決算期妻へ淋しい日が續き

決算も近くボーナスなど思ひ

決算をやつと済ましたシガレット

決算を里へ報じる新世帯

決算期重役に入るインク壺

無駄口をたしなめられる決算

寝不足が續き決算期へ疲れ

決算日主任に不足聴かされる

決算期次期計畫を漏らされる

大穴へ決算の夜を暗く座し

差引いて残る珠なし年の暮

決算に人の金とは淋しいね

盗電をして夜を更かす決算期

使ひ込みして決算の日を怖れ

決算も事なく済んだ餅の音

利子記入します郵便局の窓

二次會の経費が廻る輪轉機

○天 決算期ですと動かぬ集金屋

次號課題 『正月雜觀』  
締切 十二月二十日 葉書一人五句以内  
宛名 茨城縣廳内統計協會  
賞 三才粗賞を呈す

決算が合つて愉快な酔心地  
決算が済んで明るい社長室  
○十 秀 東京市王子區 村上亘亭  
帳尻が合つて呼ばれる支那そば屋  
御破算が續き帳場の氣が減入り  
ボーナスを考へてゐる決算期  
○人 鹿島郡豊郷村 林喜平  
○地 西茨城郡実戸町 内樋柳水  
○天 筑波郡島名村 鯉淵浩花  
○天 金澤市 森田福戀坊  
猿島郡幸島村 石崎不遜  
○地 函館市 船樹夢坊  
決算が済んで社長の茶によべ

### 編輯後記

選挙から、水害、國勢調査と、九月から十月へかけて正に縣民總動員の緊張と活躍のうちに過ぎた。そこに收め得たるものは何か、やゝ稱しうるところの肅正であり、悲むべき災禍である、唯ひとり正明優越を誇るものは國勢調査だ。

そこで本誌は國勢調査特輯——別段さうした心算りでもなかつたのだが、自然内容においてその様に意味つけられてしまった、斯く申すと何か仕方なしといったふうに取り除かれるかも知れぬが、口繪の寫真においても、座談會においても、その他編輯の私としては、之れを本誌に掲げ得たことを大いに誇りとするものである。寫真は福田君の優秀なる技倆の現はれであり、座談會は精銳を誦はるゝ我が統計課員の貴き體驗の公開だ。

願れば本年一月、呱呱の聲げて以來將に一年に垂んとするが、誌齡を算すること僅かに六ツ、また、赤ン坊の域を脱しない。けれどもどうか、あまり笑はれもせぬ雑誌になり得たのは愉快にたへない。

本誌本年は本誌を以て終刊とし、明春早々筆を新たにして各位にまみえることにする、一層の御援助、御指導を希うてやまない。

富岡如夢

昭和十年十一月十三日印刷  
昭和十年十一月十五日發行  
(隔月一回十五日發行)

一部金十錢

水戸市北三ノ丸茨城縣廳  
茨城縣統計協會内

發行兼編輯人 川崎末吉

水戸市南三ノ丸一〇七ノ二

印刷人 柴博

水戸市南三ノ丸二〇七ノ二

印刷所 柴印刷所

水戸市北三ノ丸 茨城縣廳内

發行所 茨城縣統計協會

普通 (一頁) 半頁 金拾圓  
(四分) 金參圓

▼同一廣告を引續き二回以上のときは  
一割五分、五回以上のときは二割の  
割引をします。

▼廣告に寫真挿入又は木版を要するも  
のは其の費用を別に申受けます。

▼廣告料は前納に願ひます。

茨城縣廳

茨城縣統計協會

### 茨城統計と 廣告の効果

『茨城統計』は縣下三百八十ヶ市町村及び各市町村の統計調査員三千九百名は勿論縣下各種団体、會社、工場等に配付し、中央各省、道府縣へも漏れなく配付するものにて廣告の効果偉大なるものがあると信じます。

▼本誌廣告料金は左の通りです。

特別 (一頁) (表紙裏表) 金貳拾圓  
(半頁) (同) 金拾五圓